

狭山丘陵における墓地の建設とナショナルトラスト活動

Cemeteries construction and National Trust in the Sayama Hills

*目代 邦康¹、横山 伸夫²、北浦 恵美²

*Kuniyasu Mokudai¹, Nobuo Yokoyama², Emi Kitaura²

1.自然保護助成基金、2.トトロのふるさと基金

1.Pro Natura Foundation Japan, 2.Totoro Fund

狭山丘陵ではトトロのふるさと基金により、1990年よりナショナルトラスト活動が進められてきた。狭山丘陵は、都市近郊で自然が良く残るため、その良好な環境を保全しようとするナショナルトラスト活動が、多くの人の支持を受けて行われている。しかし、個人所有地が多く、産廃処分場などが作られて、虫食い状に開発が進んでしまっている。現在問題となっている、墓地開発問題が起こっている。かつて建設残土等が埋め立てられた谷頭であるが、都市住民が自然環境の豊かな場所に墓地を購入したいというニーズがあるためである。産廃埋め立てや墓地開発が問題となるのは、地域住民が利用せず、また必要とも考えていない施設であり、丘陵の環境、景観をただ破壊するだけのものである。

キーワード：保護活動、自然の価値、迷惑施設

Keywords: conservation movement, value of nature, NIMBY